

全日本柔道連盟アスリート委員会 活動報告（2025-2026年）

NIPPON JUDO

踏み込む、一步。次のニッポン柔道。

(1) 令和6年能登半島地震チャリティ企画

アスリート委員会では、令和6年能登半島地震の発生以降、連盟主催大会での募金活動やチャリティサイン会など、継続的に支援活動を行ってまいりました。被災地の現状を直接把握し、地域の皆様との交流を深めるため、2025年3月23日に石川県志賀町にて復興支援イベントを実施いたしました。

■ 町立富来病院への視察

富来病院は震度7の揺れにより天井崩落や浸水など甚大な被害を受け全病床が使用不能となりました。復旧工事は工事業者不足などの影響で震災から約1年後に開始されました。院内には浸水痕や道路の陥没が残り、被害の大きさを改めて実感いたしました。

また、全国から寄せられた応援メッセージが掲示されており、医療復興を支える支援の広がりを感じました。



■ 応急仮設住宅まごころ防火訪問

志賀消防署富来分署の協力のもと、5班に分かれて計72世帯を訪問し、防火対策や119番通報の方法をご案内しました。短時間ではありましたが、居住者の皆様との対話を通じて防災意識向上に寄与し、地域の現状を直接感じる機会となりました。



(1) 令和6年能登半島地震チャリティ企画

■ 柔道教室

午後には未経験者・経験者を対象とした柔道教室を実施しました。礼法、ACP、受け身の講習に加え、投技チャレンジなどを通じて柔道の楽しさを体感していただきました。

トークショーでは講師が自身の経験を紹介し、参加者からは「続けることの大切さを学んだ」など前向きな声が寄せられました。経験者向けの指導では得意技の披露や乱取を行い、子供たちだけでなく指導者・保護者も楽しむ様子が見られました。



令和6年能登半島地震の復興支援を目的として、皇后盃・全日本選手権でのプログラム販売収益や募金、さらに全日本シニア体重別選手権・全日本選抜体重別選手権での募金・チャリティサイン会の収益を寄付金としてお預かりしてまいりました。

石川県柔道連盟・能登復興特別委員会と協議した結果、七尾市・能登市・輪島市では柔道場が使用できない状況が続いていることから、センコー株式会社様、認定特定非営利活動法人JUDOs様、秀和ビルメンテナンス様のご協力のもと、240畳分の畳を寄付いたしました。

また、イベントを実施した志賀町では、町立富来中学校が正課体育授業で柔道を採用していることから、柔道の普及・振興を目的に学納用柔道衣を寄付いたしました。同様の柔道衣を石川県柔道連盟能登復興特別委員会にも寄付しております。

(2) GS東京大会におけるアクティベーション

■ AJJF AWARDS

柔道界の功績・挑戦・貢献を称えるため、「AJJF AWARDS」を2024年・2025年の両年で実施しました。オリンピック金メダリスト、世界選手権優勝者、カデ・ジュニア代表選手団、長年日本代表として活躍した選手・関係者など、多方面の功績を表彰いたしました。

【2024年】

- ・ MVJ (Most Valuable Judoka)
パリオリンピック・パラリンピック金メダリスト5名を表彰。
角田夏実／阿部一二三／永瀬貴規／瀬戸勇次郎／廣瀬順子
- ・ Rising Star
世界カデ選手権・世界ジュニア選手権 日本代表選手団を表彰。
各務耕司男子監督、野瀬英豪女子監督が登壇。
- ・ Lifetime Achievement
2024年に引退を表明した選手・関係者を表彰。
芳田司／高市未来／新添左季／天野安喜子／七戸龍（アスリート委員）



【2025年】

- ・ 2025年に引退を表明した選手・関係者を表彰。
平野弘幸／大野将平／羽賀龍之介／丸山城志郎
堀川恵／ウルフアロン／高山莉加／橋本壮市

(2) GS東京大会におけるアクティベーション

■メダリスト×キッズ柔道家エキシビジョンマッチ

将来のチャンピオンを夢見るキッズ柔道家がグランドスラム東京の
畳に上がり、憧れのメダリストたちと対決！

2024年は角田夏実選手・永瀬貴規選手と対戦。
2025年は角田夏実選手・橋本壮市選手・堀川恵選手・丸山城志郎
選手の4名が団体戦形式で対戦するエキシビジョンマッチはIJFワ
ールド柔道ツアーのファイナルラウンドと同様の演出で実施しました。
トップ選手と直接触れ合う貴重な機会となり、会場は大いに盛り上
がりました。



■アスリート委員会presentsサイン会・バックヤードツアー

アスリートと柔道ファンとの接点づくりの場として、大会会場にご来場い
ただいた方の中から抽選で当選した方を対象にサイン会を実施しました。

2023年は「ディスカバリーBOX」を購入した方の特典
として、普段は入ることができない会場内のバックヤードツアーを実施し
ました。



(3) その他

■ アスリート委員会Instagramアカウントの運用

アスリート委員会の活動をより多くの方に知っていただくため、2024年11月にInstagramアカウントを開設しました。

委員会が行う事業、イベント、社会貢献活動などを発信する他、大会の盛り上げ施策など、柔道に関わる皆様とのつながりを広げることを目的としています。



■ 「2025年全日本選抜体重別選手権大会」ライブ配信解説・優勝者インタビュー

2025年4月5日・6日に福岡国際センターで行われた「2025年全日本選抜体重別選手権大会」において、ライブ配信での試合解説と、表彰式後の優勝者インタビューを担当しました。競技の魅力や選手の想いを視聴者に分かりやすく伝えることで、柔道への理解促進と大会の価値向上に寄与する取り組みとなりました。



(3) その他

■ DO JUDO ! FESTAへの講師派遣

2025年7月29日・30日に群馬県高崎アリーナで柔道を生涯スポーツとして捉え直し、部活動の枠を超えて柔道の魅力や価値を伝えることで、継続の動機付けを高めることを目的に中・高校生を対象とした柔道教室「DO JUDO ! FESTA」を実施しました。

参加者は少人数でトップ選手から直接指導を受け、柔道の楽しさや技術を体験する貴重な機会となりました。

また、進学・職業紹介を組み合わせることで、柔道と関わりの深い進路や仕事に触れる時間を設けました。柔道経験を持つ企業の社員による仕事紹介も行われ、参加者が自身の将来像を思い描くきっかけとなりました。

